

## 活性化モデル商店街の概要

商店街名：豊明市商工会

### ●キャッチフレーズ

花の街 とよあけ

### ●活性化モデル商店街としてのモデル性

名産品・特産品が生まれ、魅力ある店が増え、商店街に活気を取り戻す

## ◎商店街の将来ビジョン

近隣市町に郊外型の大型店舗や沿道型量販店などの商業集積が進み、市内の商店からの顧客流出が見られる。また、かつて市内にあった8発展会が、個店経営者の高齢化や会員の減少により、4発展会にまで減少している。

このため、鉢物取引量で東洋一と言われる「愛知豊明花き地方卸売市場」がある地域特性・地域資源を活かした「花による街づくり」を推進していくこととし、特に豊明市商工会では、「花の街とよあけ推進協議会」を立ち上げたところである。

今後も、地域の個店・発展会を巻き込み、魅力ある商店街・人が集まる商店街を形成するために、空き店舗活用や経営支援など将来を見据えた商業活性化方策や名産品・特産品づくりなどを推進する。

- 1 発展会、花関連事業者、観光・文化関係者などとの連携による「花の街とよあけ」を推進する。
- 2 商業者と生産者の連携による花にちなんだ特産品の開発・販売を支援し、特色のある商業活動を促進する。

## ◎具体的に取組む事業内容

### ○地域資源活用事業（25年度）

ガイドマップ作成、空き店舗を活用した花の講習会、商工会まつり、軽トラ市・屋台村の開催、フラワー電飾によるPR

### ○地域資源活用事業（26年度）

新たな特産品・名産品の開発及びPR、空き店舗を活用した花の講習会、商工会まつり、軽トラ市・屋台村の開催、フラワー電飾によるPR

### ○地域資源活用事業（27年度）

花を利用したまちづくり事業、空き店舗を活用した花の講習会、商工会まつり、軽トラ市・屋台村の開催、フラワー電飾によるPR